私立大学研究ブランディング事業
成果報告書

学校法人番号	401013	学校法人名	福岡学園
大学名	福岡医療短期大学		
事業名	口腔機能向上でイキイキ長寿社会の実現　―話そう・食べよう・いつまでも―		
事業成果	1)研究活動：平成29年度より4つの研究チーム4つの研究チーム（A.口腔機能管理チーム B.栄養改善チーム C.運動機能の維持向上チーム D.社会資源の創出チーム）を立ち上げ、平成29年度内に実験室の空調整備や実験設備・器械・備品等の購入を行い平成30年度からの本格始動態勢が整えた。本格始動した平成30年度は9つの公募研究グループの報告会を行い、研究成果の統合およびブランディング活動がより活性化した。その他学会等においては本研究の学術発表10題が実施され、広報活動に寄与した。令和元年度は、学会発表数12回、作成論文数4編であり、目標の発表数8回以上、作成論文数1編以上をクリアした。 2)ブランディング戦略（広報活動・地域活動等） (1)事業専用ホームページでの教員3名の研究活動プロフィールを掲載した。 (2)平成29年度～令和元年度までに高校生・一般向けリーフレットを4,200部（平成29年度：1,200部、平成30年度1,000部、令和元年度2,000部）作製し、地域公開講座と地域交流カフェ等で累計1900部、学会等で約1200部配布した。また、専門職向けリーフレットを作成し、平成30年6月以降の高校訪問及び平成30年7月5日に開催した教員対象オープンキャンパスにて140部配布した。高校生・一般向けリーフレット並びに専門職向けリーフレットについては事業専用ホームページにも掲載し広く周知をした。 (4)毎年開催しているオープンキャンパス（5月,6月,7月,8月,9月,10月,11月,12月）の参加者約260名（3年間累計）に対して「大学の将来ビジョン」および本事業を紹介し、本学のイメージならびに口腔機能向上支援による健康寿命の延伸を啓発した。 (5)平成29年9月25日開催「口から支える健康長寿・・話そう・食べよう・いつまでも・・」（69名）、平成 30 年9月30日開催「オーラルフレイルと口腔疾患～歯科医院で防ぐ全身の衰え～」（60名）令和元年度公開講座「口腔がんを考える」（約111名）を9月29日に開催し、3年間累計約240名に口腔機能向上による健康長寿を啓発した。 (6)地域のふれあいサロン「おしゃべりっく会」を短大校舎内の101講義室およびコミュニティホール1に招聘し、平成30年2月5日、2月19日、平成31年1月28 日、2月4日、令和2年1月27日、2月3日で各年度シリーズで地域公開ゼミとして開催し、本事業の広報ならびに口腔機能向上を図る講座を実施した。 (7)平成29年度～令和元年度の間に、地域住民や福岡市歯科医師会、福岡県歯科衛生士会、福岡県介護福祉士会、在学生、同窓会、連携介護保険施設の代表などのステークホルダーで構成する研究ブランディング事業推進協議会を2回実施し、事業の報告や意見交換等を行った。令和元年度については令和2年3月12日開催予定であったが、コロナウイルスの影響のため中止。令和元年度事業報告書でもって報告の予定。 (8)令和元年12月15日　福岡歯科大学学会においてブランディング事業の3年間の総括として事業報告会を行った。 3)事業に関する経費：研究ブランディング事業実施委員会を開催し、予算金額を設定し、適切に管理した。広報費については、ブランディング事業ホームページの作成、リーフレットの作製と配布および学会等での広報活動を行い、学内外へ情報発信を行った。研究費については、各チームが事業計画に沿って適切な執行を行った。		

今後の事業成果の活用・展開	本学は平成29年度文部科学省“私立大学研究ブランディング事業”に選定され、以降令和2年3月までの3年間、「口腔機能向上でイキイキ長寿社会の実現」をメインテーマに、以下のA～Dの4研究、A.口腔機能管理、B.栄養改善、C.運動機能維持向上、D.地域住民主体の社会資源創出において、活動を展開し、上記に記載した事業成果をあげてきた。 今回の研究ブランディング事業は令和2年3月をもって終了となったが、口腔機能と栄養、運動との関わりに関して新しい知見が報告されており、今後も研究成果を地域社会や学術界へ還元することで、地域住民の健康寿命の延伸に寄与したい。そのためにも各Ａ～Ｄの研究の継続は必要不可欠と考える。